



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	160,785	△3.6	12,697	10.2	11,950	5.8	7,237	11.5
2019年3月期第3四半期	166,804	3.0	11,522	△1.5	11,294	13.7	6,489	15.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,344百万円 (△25.9%) 2019年3月期第3四半期 8,567百万円 (△8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	119.78	—
2019年3月期第3四半期	104.50	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2020年3月期第3四半期 23,013百万円 (9.9%) 2019年3月期第3四半期 20,947百万円 (△4.9%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2020年3月期第3四半期 10,097百万円 (9.6%) 2019年3月期第3四半期 9,212百万円 (6.2%)

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	311,960	188,046	59.8	3,085.22
2019年3月期	318,228	193,257	59.5	3,133.54

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 186,439百万円 2019年3月期 189,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	31.00	—	33.00	64.00
2020年3月期	—	32.00	—		
2020年3月期 (予想)				34.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	△2.4	17,000	△17.4	16,500	△19.8	10,000	△18.4	165.51

（参考）EBITDA 2020年3月期 30,517百万円

のれん償却前当期純利益 2020年3月期 13,815百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	63,638,210株	2019年3月期	68,638,210株
2020年3月期3Q	2,865,997株	2019年3月期	7,865,917株
2020年3月期3Q	60,420,684株	2019年3月期3Q	62,101,417株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2020年3月期第3四半期 342,364株、2019年3月期 380,898株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、個人消費の持ち直しや設備投資の増加がみられるなど、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方、世界経済につきましては、米国では、米中通商協議の先行きが懸念されるなか、景気回復の動きは持続し、欧州でも、英国のEU離脱問題等を背景とする先行きの不透明感はあったものの、景気は緩やかな回復が続きました。また、アジアでは、中国で緩やかな景気減速が継続しているものの、全体としては堅調に推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の2年目として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」の3方針の下、積極的な事業展開を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、160,785百万円（前年同期比 3.6%減）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、107,483百万円（前年同期比 7.5%減）、保守売上高は、53,302百万円（前年同期比 5.4%増）でありました。利益につきましては、保守売上高の増加やプロダクトミックスの改善等により営業利益は、12,697百万円（前年同期比 10.2%増）、経常利益は、11,950百万円（前年同期比 5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7,237百万円（前年同期比 11.5%増）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

## (金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は、大口需要の反動により低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、30,654百万円（前年同期比 24.8%減）、営業利益は、2,519百万円（前年同期比 48.0%減）となりました。

## (流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」の販売は、大口需要の反動により低調でしたが、警備輸送市場向け「売上金入金機」及び「券売機」の販売は好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、37,252百万円（前年同期比 0.4%減）、営業利益は、保守売上高の増加やプロダクトミックスの改善等により3,875百万円（前年同期比 18.7%増）となりました。

## (遊技市場)

主要製品である「カードシステム」等の販売は低調でしたが、改正健康増進法の施行に伴うホール内喫煙ブースの設置等、店舗設備に関する販売が好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、15,956百万円（前年同期比 0.5%増）、営業利益は、1,873百万円（前年同期比 18.9%増）となりました。

## (海外市場)

米国では、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」の販売は堅調であり、流通市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売は好調でありました。欧州では、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」の販売は低調でしたが、流通市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売は順調でありました。また、アジアでは、「紙幣整理機<USFシリーズ>」の販売が順調でありました。一方、OEM製品であるATM用「紙幣入出金ユニット」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、73,343百万円（前年同期比 4.1%増）、営業利益は、欧州における改刷に伴うソフトウェアの売上高及び保守売上高の増加等により、6,284百万円（前年同期比 121.6%増）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、3,579百万円（前年同期比 54.2%増）、営業損益は、1,854百万円の損失（前年同期は営業損失 997百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日の公表値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,328	67,704
受取手形及び売掛金	57,170	45,931
電子記録債権	917	1,766
有価証券	15,556	2,001
商品及び製品	28,606	37,743
仕掛品	8,233	8,520
原材料及び貯蔵品	11,687	12,710
その他	6,218	6,279
貸倒引当金	△574	△797
流動資産合計	188,143	181,860
固定資産		
有形固定資産	34,829	37,667
無形固定資産		
顧客関係資産	19,108	18,463
のれん	44,245	41,843
その他	6,437	6,431
無形固定資産合計	69,791	66,738
投資その他の資産		
投資有価証券	12,302	10,758
その他	13,314	14,961
貸倒引当金	△152	△26
投資その他の資産合計	25,464	25,694
固定資産合計	130,084	130,100
資産合計	318,228	311,960
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,014	11,207
電子記録債務	7,461	7,718
短期借入金	23,369	26,808
1年内返済予定の長期借入金	4,476	—
未払法人税等	3,006	1,930
賞与引当金	7,852	4,388
役員賞与引当金	113	74
株式付与引当金	86	59
その他	33,087	34,867
流動負債合計	90,467	87,055
固定負債		
社債	20,000	20,000
株式付与引当金	240	280
退職給付に係る負債	3,031	3,026
その他	11,231	13,552
固定負債合計	34,503	36,859
負債合計	124,971	123,914

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	20,938	15,961
利益剰余金	172,219	161,346
自己株式	△23,884	△9,315
株主資本合計	182,166	180,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219	249
為替換算調整勘定	7,673	6,024
退職給付に係る調整累計額	△820	△719
その他の包括利益累計額合計	7,072	5,553
非支配株主持分	4,018	1,607
純資産合計	193,257	188,046
負債純資産合計	318,228	311,960

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	166,804	160,785
売上原価	104,405	96,382
売上総利益	62,398	64,403
販売費及び一般管理費	50,876	51,706
営業利益	11,522	12,697
営業外収益		
受取利息	106	152
受取配当金	137	143
投資事業組合運用益	6	88
その他	219	217
営業外収益合計	470	602
営業外費用		
支払利息	429	567
為替差損	41	388
持分法による投資損失	—	202
その他	226	190
営業外費用合計	698	1,349
経常利益	11,294	11,950
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	61	6
特別利益合計	65	6
特別損失		
固定資産除却損	26	15
投資有価証券評価損	—	120
その他	0	0
特別損失合計	27	135
税金等調整前四半期純利益	11,332	11,821
法人税等	3,918	3,813
四半期純利益	7,414	8,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	924	771
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,489	7,237

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,414	8,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△712	28
為替換算調整勘定	1,827	△1,795
退職給付に係る調整額	37	101
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	1,152	△1,664
四半期包括利益	8,567	6,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,796	5,718
非支配株主に係る四半期包括利益	770	625



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月24日付で、連結子会社であるSitrade Italia S.p.A.の株式を追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4,684百万円減少しております。

また、当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2019年11月29日に自己株式5,000,000株を消却いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が292百万円、利益剰余金が14,160百万円、自己株式が14,452百万円それぞれ減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,749	37,398	15,875	70,460	164,483	2,321	166,804	—	166,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	40,749	37,398	15,875	70,460	164,483	2,321	166,804	—	166,804
セグメント損益	4,843	3,264	1,576	2,835	12,519	△997	11,522	—	11,522

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	30,654	37,252	15,956	73,343	157,206	3,579	160,785	—	160,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,654	37,252	15,956	73,343	157,206	3,579	160,785	—	160,785
セグメント損益	2,519	3,875	1,873	6,284	14,551	△1,854	12,697	—	12,697

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。